



特定非営利活動法人

おもしろ科学たんけん工房

2007年10月1日発行

たんけん通信 第21号

おもしろ科学たんけん工房も

青少年のための科学の祭典 神奈川大会に出展しました

日時 8月19日(日) 10:00~16:00
場所 県立青少年センター
3階 練習室……科学実験展示、科学工作

テクテクザウルス:電池で動くホバークラフト
転がれずめ ジェットコースター
写真(下)はミニホバークラフトの工作コーナー



“フォーラムまつり”で 風船を使った ミニホバークラフト作りを お子様と 楽しみませんか?

日時:10月21日(日)
10時~16時
場所:男女共同参画センター横浜
2階 生活工房
(JR / 地下鉄 戸塚駅 徒歩7分)

覗いてみよう
参加してみよう

白山地区センター祭り

10月20日(土)(10時~16時)

展示及び工作体験

テクテクザウルス、ゲジゲジ UFO、ヘロンの噴水、スチレンヒコーキ、ポンポン蒸気船などを展示、 & 缶笛、紙駒などの工作

科学体験活動

(子どもと楽しむおもしろ科学)

推進スタッフ養成研修

第3期 登録参加者募集中

申込:11月11日~30日

オリエンテーション: 12月23日(日)

場所: みなみ市民活動センター

現場実習: 1月~3月の間に2回以上要体験

場所: 横浜市内、および藤沢市内7会場あり

定員: 30名 (詳細は同封チラシをご覧ください)

資料請求: TEL/FAX 045-710-2679 安田まで

中高年の主婦や定年退職者の生きがいにもなります

アートフォーラムフェスティバル 2007

10月27日(土)

アートフォーラム開場2周年記念行事
フェスティバルに参加します

①展示及び工作(午後)

・ テクテクザウルス、風力車、ゲジゲジ UFO、ヘロンの噴水、スチレンヒコーキなどの展示と、ストロートンボの工作、ペーパークロマトによる水溶性マジックの色探しの実験

②「あざみ野交流広場」の

子育てのセッションで発表スピーチ

(仮題: 科学塾と男女共同参画について)

田園都市線/市営地下鉄 あざみ野 徒歩7分

—横浜市との協働モデル事業—

科学体験活動推進スタッフ 養成研修会；

2007年度 第1期 21名が
10月末で 実習を終了

3ページにも感想文があります。

Aさん 69歳 男性

このような研修に参加させて頂き有難うございました。
楽しく出来たこと感謝いたします。

良かったこと：1. 皆さんの活動が熱心だったこと。
2. いろいろな会場に行けたこと。
3. 手作りが多かったこと。

感心したこと：1. テーマ作り、シナリオ作りから材
料の準備、リハーサル、本番と一連の
行程を分担して、協力してやっている
こと。
2. 色々なテーマに向かって工夫して
いること。

感じたこと： テーマにより、子どもたちが更に勉強
したい場合に、参考になる書物とか
展示会の案内とか次のステップへの足
がかりを案内するのも役に立つかなと
感じました。

9月9日の横浜北グループの定例会に出席させて頂き、
色々な面で具体的活動に結びつけて行きたいと思いま
す。先ず自分に出来ることからやって行きたいと思って
います。

Sさん 57歳 男性

横浜南部・湘南部にこうゆう活動しているグループが
あることを知ったことが良かったです。

グループの皆さんが事前準備にとっても時間を費やして
いることにびっくりです。

もう少し内容充実の方に時間をとれる体制を整えると
よいのでは、と思いました。

似たような活動をしているグループが川崎や東京にも
あると思います。(これは青少年センターの科学の祭典
で知りました)

他のグループと連携とったり、情報交換したりで、活
動の充実をはかったらよいと考えました。

第1期 研修参加者の感想文から(抜粋)

Kさん 63歳、女性

1. 良かったこと

- (1) 楽しみながら研修ができた。内容的に発展性があり楽しんだ。
- (2) 子ども理解を深めることができた。どの子どもも追及心・探究心があった。
- (3) 研修が多岐にわたり用意周到であり、今後の活動意欲が高まった。

2. 改めて感じたこと

- (1) 学校現場との連携が必要である。体験内容・場所・スタッフ等についての理解をしていただく機会を増やすことが大切である。
- (2) 子どもたちへの温かい視線・支援の姿勢で進めている団体であると実感できた。

3. 特に印象に残ったこと・感心したこと

- (1) 主任の方々のていねいな進め方、内容や方法を吟味しながら子どもたちに接している姿勢に感銘を受けた。
- (2) 子どもたちのエネルギーのすばらしさを引き出している方法が適切であった。

4. 物足りなかったこと、改善したほうがよいと思ったこと。

- (1) 全体としては子ども中心の体験塾というスタンスでよいと思うが、科学的・追及的な姿勢は家庭教育の中でつちかわれる面が強いので、保護者にも若干の参加をしてもらうことで、体験後の家庭の会話や活動につながることを期待したい。
- (2) 集合研修でさまざまな体験ができたが、不足部分を補う際には、自由実習(経費自己負担)の参加回数を増やしていただくとありがたい。

そのほか

学校現場にいた経験上、次のことが進むともっと一緒に活動する人、活動の場が増えるのではないかと考える。

(1) 小学校校長会、小学校理科学研究会、教育委員会等行政機関、各区役所などの関係諸機関・団体への周知を図ることで賛同する方が増えたり、活動できる場が増えたりするように思う。

(但し、急に増やしてはむずかしい事項も出てくることと思う)

(2) 各小学校のはまっ子HS、キッズC等との連携を進めて、その学校の子ども限定であっても、開催可能としてもよいと思う。



2007年度 第2期 がスタート 戸塚 男女共同参画センター横浜に
参加者 15名が集合 実習オリエンテーション 9月17日(祝)実施



2ページから続く **研修受講者感想文 続**

Yさん 55歳 男性

1. 4月に教育現場を退職した私にとって、この「おもしろ科学たんけん工房」に出会えたことは何より有難かったです。
2. 初めて集合研修に参加し、この活動が予想をはるかに超えて?しっかりした組織運営の下に行われていることに驚きました。しかし、スタッフ、参加者の皆さんは期待通りに温かく親しみやすく和やかな雰囲気ですっかり安心しました。
3. 集合研修の内容も非常に丁寧、緻密、周到であることに驚きました。しかも、それぞれのアイテムの完成度が高いことに感心しました。専門の知識、技術をもった大人が、情熱を傾けて実験、工作に打ち込んでいる迫力に圧倒される感じでした。その手間のかけ方は(学校)教育現場では考えられないものばかりです。
4. その一方、大人があまりに万端の手間をかけるとその分、子どもが直接ものに触れ、試行錯誤する領域が狭まる問題が生まれるようにも思いました。材料相手に苦勞して準備する作業こそ、実は子どもが一番身に付けさせたい、そして最もやりがいを感じる部分かもしれません。準備があまりに行き届き過ぎると、子どもたちにはある意味で「たんけん工房」仕様の工作キットが与えられ、それをつなぎ合わせる「作業」だけにならないかとも考えます。限られた時間内でどの子にも完成させたいという願いと矛盾する問題ですが、考えてみたい課題と思います。
5. 組織や運営の全体像がまだつかみ切れてませんが、準備、進行がたいへん配慮されていて毎回気持ちよく参加できました。最後の意見交流の場がさらに活発になるといいですね。

2007年度 第1期 スタッフ養成研修

応募者の年代別、男女別構成
(直前辞退者 中途辞退者含む)

年代	男女計	男	女
20代以下	1	0	1
30代	2	1	1
40代	3	0	3
50代	5	3	2
60代	11	7	4
70代以上	3	3	0
合計	25	14	11

★ 参加者 21名中 9名が教育関係者 ★

従来この養成研修の参加者は一般企業のOB等が多く、教育関係の方は2割以下でしたが、今回は実に半分近くが元または現在 教授、教官、教諭、教師等、でした。



Sさん 49歳、女性

まだ実習の体験がないので、フォーラムで行った(集合研修の)内容を中心として記入させていただきます。

1. 良かったこと: 今まで無縁だった工具類と少し友達になれたり、当たり前と思っていた現象を改めて、認識できた。
2. 改めて感じたこと: 奥が深い。
3. 印象に残ったこと: 指導してくださる皆様の知識の奥深さと発想のすごさ。切り出しナイフはとっても扱いにくかった。
4. 感心したこと: 子ども達に渡す材料の加工が細やかで、ここまでやってしまっただけの良いのだろうか?(時間のこともあると思うのですが)
5. 物足りなかったこと: 自分自身工具の扱いに不慣れなので、もう少し扱いの基礎を身につけたかった。

感想: 何もわからぬ私をやさしく、広い心で手とり足とり教えてくださり、ありがとうございました。理系とは全く無縁だったのでドライバーの扱い方、カッターナイフの扱い、ネジに線を巻きつける方向など全く知らない事だらけでこれから習得する事がいっぱいあると思いました。それはもう一つ危険な行為についてもそうだと思うのですが、自分が知らないで電気をいじった時にバチバチとやってしまったことがあります。このことで私は事前にやってはいけない行為はもちろん知らなければいけないと思っています。これから実習を行う前にはいろいろな方に“注意しなければいけない事”を伺って行きたいと思います。

何事も危険はつき物ですが子どもはちょっとこわいことも体験させるのも必要かと思えます。リスクとハザード考えてみたいことです。事故を防ぐ意味でも実行してみたいです。

そのほか

楽しい時間をすごさせていただきました。ありがとうございました。

ところで、私は学童保育におりますがそんな所にも出張していただけるのでしょうか?

(写真1)



このセミの名前は？標本作り風景

おもしろ科学たんけん工房 藤沢地区グループ便り

(特別行事)

1) 工房の自然観察活動の一環として、8月11日に藤沢市の新林公園でセミの抜け殻の採集調査を行いました。連日の暑さに負けず児童16名、保護者11名が参加し、全員たくさんの抜け殻を採集しましたが、アブラゼミが多くその他の抜け殻が少なかったのは一寸残念でした。その後市民会館に移動し、抜け殻をよく観察してセミの種類や雌雄を見分ける方法と、標本の作り方を勉強し、最後に立派な標本箱に仕上げました。また、たんけん工房より「セミの抜け殻鑑定士」の認定証を受け取り、普段自然と触れ合う機会の少ない子供たちにとって有意義な1日であったと思います。

(猛暑の折、場所の設定などの準備に駆け回った宮治さんお疲れ様でした)

(写真2) 参加者全員が一齐に飛ばし、一番長く飛んだ飛行機に与えられる賞「飛んだで賞」の風景。



(写真3) 自分で作ったヘッドフォンから聞こえてくる音に喜ぶ子供たち。



3) 8月24日、長後公民館の行事「子ども科学教室」に、「ヘッドフォン」の出前授業を行い地元の児童8人が参加しました。工房からは指導主任役の柴田さん他、4名がアシスタントを務めました。

**[子供達の笑顔が私達のやりがいですー
ー子供達を楽しませて自分達も楽しもうー]**

取材と記事制作
藤沢地区グループ：郷、品田

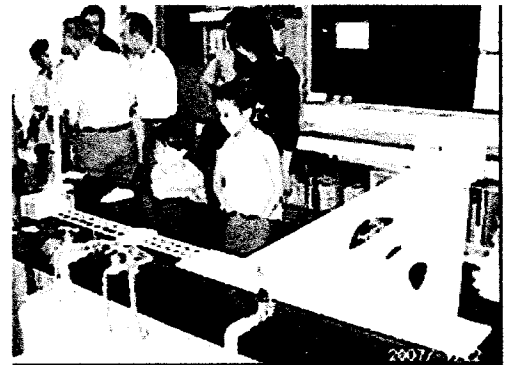
—保護者の声—

湘南台の科学塾に度々参加している児童のお父さんである黒瀬順一さんから、「おもしろ科学体験塾 in 湘南台を見学して」という題で、次のようなメッセージを頂きました。今後ともこの様なご期待に沿えるよう、たんけん工房一同努力したいと思います。

私の息子がおもしろ科学体験塾に参加するようになったのは、去年の夏前からでした。学校からもらって来たプリントをみて、母親が勝手に申し込みをしたのがきっかけでした。「知っている友達がいらないから」と最初はあまり気乗りしてなかった息子が、会場につくや否や目が輝きだし、とても積極的に参加し、今ではほとんどの催しに参加する勢いです。毎回、毎回、子供の好奇心を十分に刺激し、時間内に仕上がる工作、簡単そうでいて現在の子供の日常であまり経験できないような貴重な体験、そしてとても親切丁寧に教えてくださるスタッフの皆さん。その魅力あふれるこの教室に惹きつけられているのは、たぶん息子だけでなく私たち親の方かも知れません。

2) 前号で紹介しました「中学生のための飛行機教室」の総仕上げに相当する「ゴム動力飛行物体大会」が7月25日に辻堂海浜公園で開催されました。(主催:藤沢市中学校科学部顧問会)全部で16校参加した中で工房の飛行機教室で勉強した六会中が総合優勝しました。

写真4) どれが速いかな?



ジェット・コースターに見入る子供たち

4) 9月22日に開催された鶴沼中学校の文化祭に、「ポンプが無いのに水源より高く上るヘロンの噴水」、「3種の下りルートのどれが速いかを当てるジェット・コースター」「空気で浮かび人が乗れるホバークラフト」「紙コップで作ったヘッドフォン」を出品し、会員9名が演説を担当、市の教育長はじめ生徒や保護者が大勢来場し盛況でした。

藤沢地区会員の域外活動:

「風向計」:7月7日 主任:品田 横浜こども科学館

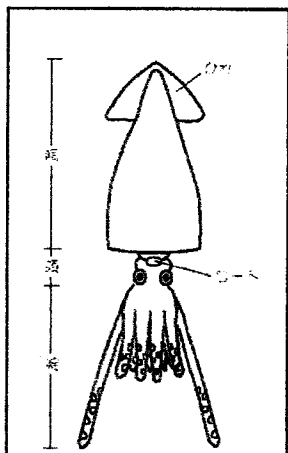
「ヘリコプター」:7月9日 主任:森島 あざみ野・アートフォーラム

※「作ったものを皆で飛ばす」ためにフォーラムとの調整に苦心された横浜北地区の石井さん、お陰様で大成功でした。

横浜東地区グループ便り

テーマ紹介 “イカの観察と解剖” 野津 信子

私は小・中学生の頃、小川や田の畦でカエルを追いかけて解剖や骨格標本作りをし、動物のからだの不思議に魅せられました。後に主婦になって台所で調理をし、動物のからだの美しさや、はたらきのすばらしさを知り、感動を深めてきました。このおもしろい生物の世界に子どもたちを招きたくて『イカの解剖』の講座を計画しました。



イラストは工房会員の
水山エツ子さん作

このごろは動・植物の分類や解剖など生物学での基礎と思われる学習が、小・中学校の教科書で軽く扱われているように思います。映像やP.Cや印刷物などからの情報だけでなく、生の動植物を自分の手で触り、目で観察することで、その世界に興味を感じ、自然に入っていけると思います。
「解剖は気持ち悪い、きたない、」という先入観を持たせないために、トレイ(お盆)にイカを載せ調理用はさみで手を使って調理をするように解剖していきます。

まず、イカの外部形態の観察をします。イカの各器官の名前(頭・口・手・足?)を確認し、夫々の器官を観察しながらそのはたらきを考えていきます。

次に、イカの外套膜を切り開き、消化器官、呼吸器官…などのはたらきを陸上生活のヒトと水中生活のイカを比べながら考え、内臓の観察へ進みます。

最後に、まとめです。イカのからだの模式図を使って消化器官などのつながりや外套腔への水の出入りの経路、ロケット噴射(イカの運動の原動力)などを確認します。

ニュース “リリースの大冒険” 開催! 栄区民文化センター

8月25日、栄区民文化センター「リリース」にて、夏休みオープナー「リリース・フェスティバル2007夏」“リリースの大冒険”が開催されました。「おもしろ理科工作」として、東グループを中心とした工房スタッフが参加しました。

「ミニホバークラフト」、「くるくるレインボー」、「葉脈スタンプ」の3つのテーマで行いました。

3、4歳から小学生を中心に約110名が参加し、20分サイクルの工作であったため、どの工作も大忙しでしたが、大きな混乱もなく、ほぼ予定どおり実施できました。

この企画に賛同いただき猛暑の中、ご協力いただいた工房メンバーの方々に感謝します。(記事:小林 忠)

特集 “横浜こども科学館は今” 土屋 昌信

横浜こども科学館は1984年のこどもの日に開館して以来、現在までに入館者は600万人を超え、横浜市をはじめ神奈川県全域にわたる子どもたちに宇宙のふしぎや科学のおもしろさを体験してもらってきました。

当初は横浜市の施設として全市民的な活動が中心でしたが、最近では地域活動にも積極的に取り組んできています。たとえば、文科省の地域子ども教室推進事業のもと、地元の「洋光台町まちづくり協議会・青少年夢環境部会」との連携で、環境教室、電波教室、実験工作教室などを開いてきました。なかでもおもしろ科学たんけん工房との共催で行っている実験工作教室は、大変よい評価をいただいています。小刀の使い方のように基礎的ではあっても最近の子どもにはなかなか経験できない内容のものなどテーマの豊富さ、テーブルごとの指導、反省会やアンケート収集など自分たちも学ぼうという姿勢がありどんどん改良されている、などがその理由です。これからも、工房の皆さんの得意とする分野でどんどん発展させてもらいたいと期待しています。

また、ボランティアの人が自分の時間があるときに来て、簡単実験や簡単工作を子どもたちと一緒に楽しむ「ワゴンワークショップ」のようなコーナーを作りたいなど、いろいろなアイデアを発展させて、子どももおとなも一緒になった、『横浜こども科学館ファンクラブ』のようなものができたらさきっと楽しいな!と考えています。

横浜こども科学館に何回来ていただいても、毎回必ず新しいことがきっと見つかると思います。是非来てください。

(科学館にインタビューして記事にしました)

コラム

「夏休みの俳句」 岩村 幸衛

熱戦の高校野球 蝉時雨 せみしぐれ

夕焼けを映してプール静まりぬ

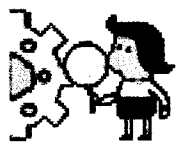
夏休み耀く子らの科学熱

衆生に慈雨をふるまう雨蓮 あめはちす

五蘗盆会 バイクの僧侶急ぎゆく うらぼんえ

横浜東地区版は第3号から、東地区のメンバーが旅行記、趣味の紹介など自由なテーマで持ちまわりで執筆する『コラム』、主に主任の方に御願する『テーマ紹介』などを設けることになりました。 編集世話人: 広神勝彦

このページでは、スタッフのプロフィールを紹介してゆきます。



大熊 輝男 さん

A1: 横浜生まれの横浜育ちですが転勤で千葉と神戸に住んだことがあります。

半導体シリコンの製造技術の開発を9年近く担当した後、教育界に転職し教材や指導方の開発、指導者や社員の発掘と育成、学校への教育法の導入等々経理と海外業務以外は殆ど経験してきました。教室などで多くの子供たちと接する機会に恵まれたのが何よりの財産になっています。

A2:

仕事を通じて子どもも保護者も「理科離れ」が顕著なことを肌で感じ危機感を覚えていたため、何とかしたいとの想いを抱き研修の告知を見てすぐに応募しました。

A3:

子どもと接する現場となる科学塾への参加は勿論ですが、理解者を増やすために教育関係者などとの交流の場を積極的に作っていきたくと考えています。

A4:

1年半前から放送大学での学習を続けています。「NPO マネジメント」といった講座の単位も取得しました。パングラディッシュの子どもたちの支援を始めて4年位になります。映画や美術鑑賞の趣味は40年くらい続いています。カメラはグループ展で末席に参加する程度です。

A5:

自分の考えや疑問をぶつけられる先輩や大人を見つけて大切にしてください。読書を通じて想像力を育ててください。



櫻井 美由貴 さん

A1: 千葉県 鴨川市 生まれ
港南区在住 夫と2人の子どもがいます。

A2: 下の子どもが中学生になり、自分の為の時間が少し持てるようになったので、仕事以外の、何かやりがいを感じるものを探していた時たまたまチラシを見て、おもしろそうだなと思ったので応募しました。子ども相手の仕事をしているので少しは経験を生かせるし、忘れてしまった理科に興味もありました。

A3: 低学年向けで事前準備があまりかからず簡単で奇抜なもの。工作になってしまうかな?

A4: 読書 DVD鑑賞 旅行

A5: 集中、熱中して遊ぶこと。好きな事を1つでも見つけること。

- Q1 生まれた年と、場所、簡単な略歴、現住所
Q2 たんけん工房に参加するようになったいきさつと、動機。
Q3 たんけん工房でやってみたいことはどんなことですか具体的なテーマでも、夢のイメージでも。
Q4 趣味や道楽は?
Q5 子どもたちに ぜひすすめたいことは?
Q6 その他付け加えたいことがあればご自由に一言。



加藤真規子 さん

A1: 横浜生まれ横浜育ちです。

A2: 子供科学館にて募集チラシを拝見し、子供達の科学の芽を育てるのに役立つのならと思い参加しました。

A3: 化学実験をやりたい。

A4: 物作り

A5: なぜ、どうしてを沢山持つこと



鈴木健夫 さん

A1: 1944年 満州で生まれ、現在の新潟県栃尾市に引き上げました。昭和29年横浜市鶴見に転居以後概ね横浜住まいで現在は、横浜市泉区緑園在住です。1963年電電公社に入社し電話交換機のメンテナンス業務を中心に従事、その後関連企業に転籍インターネット関連設備工事の施工管理をへて、2006年同社退職現在に至る。

A2: アルバイト探し中に区役所で見た、募集チラシに興味を持ったことがきっかけ。

A3: 特に分野にこだわらず、子どもたちが目を輝かせて取り組めるような、工作・実験等を一緒になって、楽しみたい。

A4: 学生時代は卓球にのめり込んでいたが、現在はこれといった運動はしていない、何にでも興味を持ち手を出すが上手くならない八方美人といったところです。

A5: 机上や映像情報だけではなく、実際に触り、感じながらやってみる体験の面白さ。

A6: より高くより速くへ、あるいはより美しく、よりスムーズにを求めているようですが、もっと簡単で、お手軽を求めるのは間違いでしょうか?



明石 五良 さん

A1: 京都生まれの大阪育ち。
現在、横浜市港南区在住。

大阪府庁に入庁のち、演劇製作がたくて上京。劇団分裂解散をしおに、関連業種で非常勤講師として在職中。

A2: ネットサーフィンをしていて、インストラクター養成講座を見つけ、面白そうだと思って受講したのがきっかけで、それまでの自分とまるっきり縁の無い世界であることが不安だったが、覗き趣味が優先したという、不純な動機です。

A3: 理科知識が全く乏しい状況で記入。
「ねえ君たち科学のふしぎがこんな身近にあるんだよ」が命題。

ここにささやかながらも、ふしぎの入り口を見出せるかもしれないじゃないかという分野を先輩諸氏から学びたい。

A4: (工房と関わりだしてから)模型作り、ジオラマ制作。
映画鑑賞他、中年倶楽部「人獣舎」主宰。

A5: なんにでも興味を持ってチャレンジ・体験して、不思議の入り口を見つけ出すきっかけを探して欲しい。

A6: Q3のこたえが完全に逸脱しています。
理科系がまるっきり苦手なことだけはご理解ください。

- Q1 生まれたところと、簡単な略歴を教えてください。
Q2 たんけん工房に参加するようになったいきさつと、動機を簡単に説明してください。
Q3 たんけん工房でやってみたいことはどんなことですか具体的なテーマでも、夢のイメージでも。
Q4 趣味や道楽は？
Q5 子どもたちに ぜひすすめたいことはなんですか？
Q6 その他付け加えたいことがあれば、ご自由にひとこと。



児玉未央 さん

A1: 生まれは香川です。が生後1ヶ月ほどで転勤となり香川の記憶があまりありません。その後色々な場所をまわり、現在横浜市在住です。

自然や生き物に興味があり大学では動物のことにについて勉強をしました。

在学中に「伝える」仕事に興味をもち、現在環境教育の仕事をしています。

A2: 伝えることに興味を持っていた時に、養成講座の募集を発見したので。

A3: 仕事が忙しくなかなか活動に参加できないのですが、子供達と一緒に楽しんで、驚きや不思議を共有したいです。

A4: A4: 絵を描くこと、写真が好きです。

最近はまだやったことのない体験に興味があります。

A5: 自分たちの身近なところにある、おどろきや不思議

宮永彬行 さん



A1: 出生地 南区前里町。現住所 港南区港南台。
昭和20年5月の横浜大空襲により戦災にあい現住所に着くまで横浜市内を8回も引越しました。

仕事は、勤め人でしたが職場は横浜駅西口で、40年近くいました。横浜駅西口原野から現在の高密度な商業集積の横浜駅西口の発展と共に生きてきました。

A2: ボランティア活動をしているとき、ある先輩にたんけん工房の研修をうけているが、よかったら申し込んでみたらとすすめられました。その先輩は私が活動を始めるころ辞めていました。

A3: たんけん工房の行事のなかで子供たちと一緒に笑える時間がすごければいいなと思います。また、一級のアシスタントになることです。

A4: 歴史物が好きで、鎌倉の歴史勉強会や、郷土史の散策会に参加しています。

スタッフの プロフィール



平山律子 さん

A1: 東京都 杉並区生まれ
中学生の頃、東京から横浜に移ってきました。
以来、横浜に住んでいます。
大学卒業後、都内、法律事務所に勤務し、現在は特許事務所に勤務しております。

A2: 何かボランティアをしてもよいかと思ってたところ子供と一緒に実験ができるということで、おもしろそうと思い参加しました。また、最近の小学校では実験等をしないということが大変残念に思っていたところだったので、この活動はよいと思い参加しました。

A4: 音楽鑑賞、スキー

A5: 実験を通して(失敗も含め)、楽しい、怖い、難しいなどを実感してください。またいろいろな疑問(なぜ)から知的好奇心をどんどん広げていってください。

おもしろ科学たんけん工房のホームページ

<http://park2.wakwak.com/~tanken/>

ホームページから[おもしろ科学体験塾]に申し込みもできます



◎ 2007年度 前半(4月～9月)の活動実績 一覧 ◎

4/14	鶴沼中学校	レモンや食塩水で電池を作ろう	27	28
4/14	柏陽高校	紙ヒコーキを作って飛ばそう	32	48
4/21	フォーラムあざみ野	光と鏡が作る不思議な世界 万華鏡を作ってみよう	30	38
4/21	永野小学校	ふしぎな紙のマジックワーク	9	13
4/21	横浜こども科学館	コマを作って回し比べをしよう	22	29
4/28	湘南台高校	電池で動くマイ・ホバークラフトを作ろう	24	33
4/28	フォーラム戸塚	気体の力のおもしろ実験と工作	26	30
4/30	東汲沢コミュニティハウス	みんなで楽しく科学を体感:「春の雑木林と道ばたの野草の観察」	13	地区企画
5/12	鶴沼中学校	ライトプレーンⅡを作って飛ばそう	25	39
5/12	柏陽高校	コマを作って回し比べをしよう	19	21
5/19	白山地区センター	電気と磁石のふしぎを実験/モーターを作る	30	35
5/19	永野小学校	気体の力のおもしろ実験と工作	28	34
5/19	横浜こども科学館	電池で動くマイ・ホバークラフトを作ろう	22	119
5/26	湘南台高校	太陽熱で回る風車を作ろう	27	34
5/26	フォーラム戸塚	光と鏡が作る不思議な世界 万華鏡を作ってみよう	20	34
6/2	鶴沼中学校	紙コップで作るヘッドホン	30	49
6/2	柏陽高校	空気の重さと圧力のふしぎを実験	27	32
6/9	岡村小学校	ヘリコプターを作ってみよう	21	38
6/16	あざみ野午前/午後	ふしぎな噴水 -ヘロンの噴水を作ろう-	56	58
6/16	永野小学校	水をきれいにする実験	29	33
6/16	横浜こども科学館	磁石と電気のふしぎを実験/モーターを作る	23	44
6/23	湘南台高校	風向計をつくってみよう	21	23
6/23	フォーラム戸塚	水をきれいにする実験	24	28
6/30	岡村小学校	ヘリコプターを作ってみよう (2回目)	11	(14)
7/7	横浜こども科学館	風向計をつくってみよう	22	59
7/7	桜井小学校	葉脈スタンプを作る	24	地区企画
7/14	鶴沼中学校	空気の重さと圧力のふしぎを実験	19	22
7/14	柏陽高校	電動ゲジゲジUFOを作ろう	29	48
7/19	東汲沢コミュニティハウス	みんなで楽しく科学を体感「光の性質-視覚のふしぎ」	26	地区企画
7/20	鉄小学校	トコトコ怪獣をつくってみよう	33	出前
7/21	フォーラムあざみ野	ヘリコプターを作ってみよう	36	106
7/21	永野小学校	ふしぎな噴水 -ヘロンの噴水を作ろう-	23	26
7/27	横須賀市浦賀公民館	夏休み工作教室:「作ってあそぼう お散歩ハリネズミ」	22	出前
7/28	湘南台高校	信号機を作って電気の勉強をしよう	23	26
7/28	フォーラム戸塚	レモンや食塩水で電池を作ろう	28	31
7/30	横須賀市田浦公民館	夏休み工作教室 (第1日)「ゲジゲジ UFO 作りにチャレンジ」	11	出前
7/31	横須賀市田浦公民館	夏休み工作教室 (第2日)「ゲジゲジ UFO 作りにチャレンジ」	15	出前
8/11	新林公園	セミのぬけがら調査	16	24
8/19	県立青少年センター	ミニホバークラフト、テクテクザウルス、ホバークラフト、ジェットコースター	200	イベント
8/23	永野小学校	永野小チャレンジスクール低学年 おもしろ科学で遊ぼう+ストローロボット	62	出前
8/24	永野小学校	永野小チャレンジスクール高学年 二酸化炭素って何だろう	22	出前
8/24	藤沢市長後公民館	紙コップで作るヘッドホン	8	出前
8/25	栄区民文化センター	「おもしろ理科工作」ミニホバークラフト、くるくるレインボー、葉脈スタンプ	120	イベント
9/8	鶴沼中学校	電池で動くマイ・ホバークラフトを作ろう	26	38
9/8	柏陽高校	IC ラジオを作ってみよう	25	43
9/8	岡村小学校	空気の重さと圧力のふしぎを実験	13	14
9/15	横浜こども科学館	ブザーを作ってモールス通信で遊ぼう	22	31
9/22	フォーラム戸塚	光と色のふしぎな世界:簡単カメラ兼分光器を作って光の実験	19	25
9/22	湘南台小学校	船を作ろう	24	34
9/22	鶴沼中学校文化祭	紙コップヘッドホン、ヘロンの噴水、下り坂の速さ比べ、人乗りホバークラフト	200	イベント
9/29	永野小学校	ヘリコプターを作ってみよう		

<略記号説明> フォーラム戸塚=男女共同参画センター横浜;フォーラムあざみ野=男女共同参画センター横浜北
 地区企画=たんけん工房の地域メンバーと地域の人中心の企画; 出前=たんけん工房以外の団体の企画に工房メン
 ーが出張または出前授業として実施; イベント=行政その他が企画したイベントにたんけん工房として出展。